



議会だより

平成5年4月25日

発行／岡垣町議会
編集／議会広報委員会
住所／遠賀郡岡垣町大字野間697-1
TEL (093)282-1211

だより

第三号

~~~~~  
もくじ

|        |     |
|--------|-----|
| 定例会の概要 | 2～3 |
| 一般質問   | 4～5 |
| 委員会だより | 6～7 |
| シリーズほか | 8   |

~~~~~



春



岡垣町立中部保育所の子どもたち

平成5年 第一回定例会

平成5年第一回岡垣町議会定例会は、3月4日から3月22日まで開催されました。

町長からは、課の廃止などの条例改正六件、平成5年度暫定予算などの予算関係十二件、町道の認定一件の合計十九議案が提案されました。

議員からは、委員会条例の改正、請願・陳情にともなう意見書など六議案が提案されました。議案は、委員会及び本会議で審議の後、すべて可決しました。

議案第十四号 岡垣町課設置条例の一部を改正する条例(可決)

「岡垣サンリーアイ」のオープンにとまない、総合ふれあい公園対策室が廃止されました。

議案第十五号 岡垣町重度心身障害者医療の支給に関する条例の一部を改正する条例 (可決)

国の支給制度実施要綱ならびに県の補助金交付要綱の一部改正にともなう条例が改正されました。

議案第十六号 岡垣町都市公園条例の一部を改正する条例(可決)

新しく井掘公園が野間三区に設置され、条例の別表が改められました。



井掘公園

議案第十七号 平成4年度岡垣町一般会計補正予算(第六号)

(賛成多数可決)

税込、町債の見直しなどで、歳入歳出ともに八千八百七十七万三千円が減額されました。これで平成4年度の総予算額は、八十七億一千四百七十七万二千円となりました。

議案第十八号 平成4年度岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)

(可決)

国庫支出金、療養給付費交付金などの歳入増、保険給付費などの歳出増により、それぞれを三千七百七十四万四千円増額するものです。これで平成4年度の総予算額は、十七億七千四百九十四万六千円となりました。

議案第十九号 平成4年度岡垣町老人保健事業特別会計補正予算(第三号)

(可決)

支払基金交付金、国庫支出金などの歳入増、医療給付費などの歳出増により、それぞれを一千五百四万六千円増額するものです。

議案第二十号 平成4年度岡垣町公共下水道事業特別会計補正予算(第四号)

(可決)

県補助金による歳入増、建設事業費歳出増により、それぞれを四百八十万円増額するものです。これで平成4年度の総予算額は、十二億六千五百二十二万六千円となりました。

議案第二十一号 平成4年度岡垣町水道事業会計補正予算(第三号)

(可決)

納付金、預金利息などの収入増により収益的収入を一千五百万円増額し、修繕費などの増により収益的支出を五百六十三万円増額するものです。

議案第二十二号 平成5年度岡垣町一般会計暫定予算 (可決)

平成5年度の岡垣町の事業全体を表すものです。但し、今年度は、4月に新町長が決定するために暫定予算となっております。本予算は、6月の定例会で審議採決されることとなります。

今回は、十七億二千五百五十万円の歳入歳出額が可決されました。

議案第二十三号 平成5年度岡垣町国民健康保険事業特別会計予算 (賛成多数可決)

(可決)

平成5年度の岡垣町の国民健康保険事業全体を表すものです。歳入歳出額は、それぞれ十八億四千八百四十九万七千円が可決されました。

議案第二十四号 平成5年度岡垣町老人保健事業特別会計予算 (可決)

平成5年度の岡垣町の住宅新築資金等貸付事業全体を表すものです。歳入歳出額は、それぞれ四百一十一万一千円が可決されました。

議案第二十五号 平成5年度岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 (可決)

平成5年度の岡垣町の公共下水道事業全体を表すものです。但し、今年度は、4月に新町長が決定するために暫定予算となっております。本予算は、6月の定例会で審議採決されることとなります。

議案第二十六号 平成5年度岡垣町公共下水道事業特別会計暫定予算 (賛成多数可決)

平成5年度の岡垣町の公共下水道事業全体を表すものです。但し、今年度は、4月に新町長が決定するために暫定予算となっております。本予算は、6月の定例会で審議採決されることとなります。



審議中の議員

議案第二十七号 平成5年度岡垣町水道事業会計予算

(賛成多数可決)

平成5年度の岡垣町の水道事業全体を表すものです。

収入支出額は、収益的収入四億四千五百九十七万一千円、収益的支出四億三百四十六万八千円、資本的収入一億四千三百二十万、資本的支出二億三千二百七十四万六千円が可決されました。

議案第二十八号 岡垣町道路線の認定及び変更について(可決)

新たに町道六路線が認定されると共に、従来からの二路線が起点の変更を受けました。

議案第二十九号 岡垣町学童保育所設置条例の一部を改正する条例

(可決)

新たに山田学童保育所を設置するために条例の改正が行われました。

議案第三十号 岡垣町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

(賛成多数可決)

岡垣町特別職報酬審議会の答申に基づき、議員の報酬が次のように改正され、平成4年10月1日にさかのぼって実施されることになりました。

単位：円

	改正後	改正前	改正額
議長	30万6千	30万	6千
副議長	27万	26万4千	6千
常任委員長	26万	25万5千	5千
常任委員	26万	25万5千	5千
議員	25万	24万5千	5千

議案第三十一号 岡垣町特別職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例

(賛成多数可決)

町長、助役の給料月額を平成5年3月23日から3月31日までの間、それぞれ七十三万円から六十三万一千円、五十八万二千円から五十九万九千円へ引き下げるための条例の改正です。

引き下げは、総合ふれあい公園施設の備品購入契約を、法律の解釈の誤りから、議決を得ずに行ってしまったことに對し、行政の責任者として、町長、助役が自らを律するたため行うものです。

議案第三十二号 平成4年度岡垣町一般会計補正予算(第七号)

(賛成多数可決)
議案第三十号での議員報酬の引き上げにともなうものです。これで平成4年度の総予算額は、八十七億一千二百三十一万七千円となりました。

議案第一号 岡垣町議会委員会条例の一部を改正する条例

(可決)

議案第十四号に関連し、総務常任委員会の所管から総合ふれあい公園対策室が除かれました。

請願・陳情

本定例会に提出された請願、陳情は各一件です。

前回から継続審査となっていた陳情三件を合わせて合計五件が採択、陳情二件が継続審査となりました。

また、採択された請願、陳情

にともなう意見書三件が可決され、内閣総理大臣をはじめとして、それぞれの関係機関に送付されました。

請願第一号 元国鉄清算事業団職員の雇用確保に関する意見書の採択を求める請願書

(賛成多数採択)

平成4年陳情第二号 陳情書

(ゴルフ場建設に伴う災害の防止について)

平成4年陳情第三号 陳情書

(国民の祝日「海の日」実現について)

平成4年陳情第七号 「健康保険で良い入れ歯」が作れるよう

保険点数の改善を求める意見書提出に関する陳情

陳情第一号 陳情書(白谷踏切附近歩道橋設置について)

陳情第二号 陳情書(採択)

陳情第三号 陳情書(継続審査)

臨時会

平成5年第一回臨時会

平成5年第一回臨時会は、1月18日から20日まで開催され、職員給与を改正する条例二件(二・六四%引上)、それにもなう補正予算五件、工事請負契約の変更一件、合計八件の議案が可決されました。

また、昨年12月定例会で継続審査となっていた指定金融機関に関する陳情三件は、陳情者より取り下げの申し出があり、1月20日の本会議で承認されました。

議案第一号 岡垣町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (可決)

議案第二号 岡垣町の単純な労働に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例 (可決)

議案第三号 平成4年度岡垣町一般会計補正予算(第五号) (可決)

議案第四号 平成4年度岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号) (可決)

議案第五号 平成4年度岡垣町老人保健事業特別会計補正予算(第一号) (可決)

次頁へつづく

日	程
3月4日	本会議(初日)
5日	連合審査会 本会議
8日	総務常任委員会 岡垣町観光開発特別委員会
9日	文教厚生常任委員会 総合ふれあい公園建設特別委員会
10日	経済建設常任委員会
11日	全員協議会 ゴルフ場に関する調査特別委員会
12日	連合審査会
15日	連合審査会 議会運営委員会
16日	本会議 総務常任委員会
17日	一般質問
18日	一般質問 連合審査会
22日	経済建設常任委員会 本会議(最終日)

一般質問

3月17日・18日の両日開かれた本会議で、六名の議員が一般質問を行いました。

竹内和男議員

▼道路行政について

質問 都市計画道路の供用開始はいつか。

答弁 海老津く三吉線は、今年8月、赤井手く源十郎線は、平成8年完成予定となっている。

質問 海老津く三吉線の供用開始が遅れた原因は何か。

答弁 海老津く三吉線は、都市計画道路であって県道である。県によると、工事費の増加と工区を分散したことが、遅延の原因とのことだ。

質問 道路の補修は早くやるべきだが、町はどのような方法で対応をしているのか。

答弁 担当職員の現場回りをはじめ、地元の区長にも協力をいただき、補修箇所を早期発見、早期補修に努めている。今後も、前向きな姿勢で取り組みたい。

▼家賃補助制度について

質問 国には「特定優良賃貸住宅法」があり、福岡県も新年度から「公共賃貸住宅建替え10ヶ年戦略」を実施しようとしているが、町として家賃補助制度導

入を考えてはどうか。

答弁 議員の住宅問題に関する質問は、これが三回目でもあり、若者が定着できるような町づくりは、町の願望でもあるので、先進地の調査に取りかかりたい。

▼環境美化条例について

質問 福岡都市圏二十市町村が、3月定例会で一斉に「空き缶等の散乱防止及びその再資源化の促進に関する条例」を提案しているが、町はどう対処していくのか。

答弁 町民の理解を得るため、まず、ポイ捨て禁止区域路線を設置し、好評であれば路線を増やし、遠賀郡四町で条例の検討もやっていきたい。

▼寝たきり老人などの介護者に対する支援策について

質問 寝たきり老人などの介護者に対する支援策は。

答弁 ショートステイ事業で対処していきたい。また、社会福祉協議会のホームヘルプサービス事業を拡大し、介護人の悩みごと相談を受けるとともに、介護者に対する研修講座の開設も検討したい。

▼ごみ減量目標達成率について

質問 ごみ減量は、町の想定した数値に至っているか。

答弁 町民の協力で達成できている。今後も維持したい。

質問 不燃物、可燃物の分別状態を調査しているか。

答弁 やっている。分別の状態が、若干良くない所もあるので、今後は啓発を行っていく。



ゴミ収集の現場

質問 所有者を調べ処理したい。

答弁 上畑から上高倉への道路わきの不法投棄の状況、対応は。

質問 他町のごみもあるようだ。

答弁 調査も必要だが、早急な対処を行って欲しい。

▼コンポスト購入について

質問 コンポスト購入に関する詳細説明をしていただきたい。

答弁 当面五百個を、各家庭に1台補助で購入願ひ、生ごみの減量化を推進したい。

質問 指定ごみ袋で処理しにくい段ボールなどに対する措置は。

答弁 子供会やその他の団体で行っている資源ごみの回収に協力願うよう指導していく。

質問 それらの団体に対する助成措置はあるのか。

答弁 新年度より予算措置し、助成していく。

細川光利議員

▼刀根町長の政治姿勢について

質問 岡垣町は、全国的にも同和行政の先進町として、同和問題を1日も早く解決するよう取り組んできた。ところが、今回の町長選挙の運動の中で、「人権侵害」、「差別事象」が発生している。町長は、このことを知っているのか。

答弁 そういうことは、今初めて聞いた。

質問 一点は、塚原区長名で区民に配布されたもの。もう一点

前頁より

議案第六号 平成4年度岡垣町公共下水道事業特別会計補正予算(第三号) (可決)

議案第七号 平成4年度岡垣町水道事業会計補正予算(第二号) (可決)

議案第八号 平成4年度塚田川改修工事請負契約の変更について (賛成多数可決)

平成4年陳情第四号、五号、六号の取り下げについて (承認)

平成5年第二回臨時議会

平成5年第二回臨時会は、2月15日に開催され、工事委託変更協定一件、「岡垣サンリーアイ」の追認三件を含む備品購入契約四件、合計五件の議案を可決しました。

議案第九号 鹿児島本線海老津駅構内四十区二百二十六M付近公共下水道新設(横断)工事委託変更協定について (可決)

議案第十号 岡垣町総合ふれあい公園施設中ホール緩帳製作契約について (賛成多数可決)

議案第十一号 岡垣町総合ふれあい公園施設図書館用図書購入契約について (賛成多数可決)

議案第十二号 岡垣町総合ふれあい公園施設舞台備品購入契約について (賛成多数可決)

議案第十三号 岡垣町総合ふれあい公園施設机・椅子等備品購入契約について (可決)

勢屋康一議員

は、鈴木平氏に対する重大な人権侵害を、電話や口伝えで流されている問題である。町長は、本当に知らないのか。

答弁 一点めの塚原区長名の文書は、今日細川議員から資料として貰って初めて目にした。二

点めの鈴木平氏に対する電話、口伝えについては、地域改善対策室に無名でそのような電話がかかってきたということの報告を、対策室長より受けた。対策

室長が、人権侵害発言をしたと噂されている人に会って事実を確認したところ、本人は、そんなことは絶対に言っていないとのことだった。巷にそういう話があつているといふことは、今日初めて聞いた。

質問 選挙は政策で堂々として、町民の審判を受けるものである。町長が主張されている「人権尊重のまちづくり、ひとつづき」とは逆行する重大な問題である。町行政として対応策をどのようににされるのか。

答弁 今回の件は、やり方を間違えば、行政も町長選挙の双方の候補者も傷がつく問題である。現在、地域改善対策室長と社会教育課長に指示し、実態、状況を把握させている。その上で、地域改善対策推進協議会なりと協議しようということにしている。

▼町長選挙出馬について

質問 町長は、今回再度立候補するにあたり、保守、革新など政治上の立場、あるいは政治姿勢を変えられたのか。

答弁 何も変わっていない。あえていうなら、岡垣の町民党ということになる。町民本位の政治を行う姿勢は変えてない。

質問 地方公務員法第三十六条では、公務員の政治活動の制限がうたわれている。職員の政治活動に対する見解をたずねる。

答弁 課長会議の席上、および各課に対する文書で、職員は地方公務員法を厳守するよう通達している。

質問 刀根後援会のパンフレットの写真は、町勢要覧の写真が使用されているようだが、著作権の侵害にあたらないか。

答弁 パンフレットは、私が指導して作られたものではないが、著作権の侵害については二人の弁護士に確認したところ、微妙だという回答と侵害しないのではないかという回答を受けた。

竹井信正議員

▼岡垣町の歴史文化財の保存について

質問 岡垣町第三次総合計画で歴史文化財の保護、保存に努めるとあるが、大変遅れている。



ふれあい公園

歴史の文化財をどのように保存しようとするのか。

答弁 地理的要因から、多くの遺跡が存在している。貴重な遺物などについては、町外に持ち出されている物もあるが、有形文化財十三件、天然記念物五件、民俗資料六百五十余点は、資料室内に保存している。これらを

多くの人に公開する展示物資料館を必要とするわけだが、財政計画、状況からして早期の実現は困難である。今後教育委員会とも協議、検討を行っていくが、当面は、「岡垣サンリリーアイ」のギャラリーを活用したい。

質問 町に点在する歴史文化財を後世に残す構想を示して欲しい。

答弁 町には、歴史的に由緒ある史跡が点在している。特に遺

跡の密度の高い内浦、原、波津地区は、調査、発掘し守る必要がある。財政が許せば、そうした地域に資料館なり研修のための施設を設置し、学校教育の場としても活用できるような構想を今後検討していきたい。

質問 この度配布された施設と歴史のマップ、パンフレットを活用すれば、親と子のふれあいを深めながら、町の歴史を知ることには役立つと思う。この点は、教育委員会に敬意を表すが、今後、史跡をなまの教材として活用しながら、町起こしにつながるような構想はないか。

答弁 海蔵寺を中心とした既存のふれあい公園や遊歩道整備を進め、周辺の古墳を全部網羅した風土記の丘というようなものの構想を練っている段階である。

平山 弘議員

▼国民健康保険税の引き下げについて

質問 国民健康保険税は、社会保障制度の一つである。岡垣町の加入世帯は、四千四十五世帯で、全世帯の四十五％である。実態をみると、六十歳以上が五十四％、年金所得者と所得のない者を合わせると約二千五百世帯で、所得二百五十万円以下の世帯は八十四％と、低所得者、高齢者が多数である。その上、

国保税は所得二百四十万円の世帯で二十五万円と、社会保険に比べて二倍にもなっている。国保税が高くて、支払い能力の限界にある。一般会計からの繰り入れを増やして、国保税の引き下げを求める。

答弁 国保会計は、独立採算が原則。現在、総額四千八百万円、一人当たり五百六十円を出している。

質問 国保会計の収入に占める繰り入れ金の割合は、全国平均は四・九％だが、岡垣町は二・六％で半分だ。

答弁 県下の市町村平均は、一人当たり一万二千円。町村だけの平均は四千円である。

質問 各自自治体の財政の違いもあるし、首長の国保に対する考え方の反映でもある。

答弁 国保税が高いのは、身を持って経験している。町の財政も限られ策ではない。税のあり方をみて考えていきたい。

▼要介護者対策について

質問 本年4月から、特別養護老人ホームの措置権が町に移る。今後の措置についてどう考えているのか。

答弁 施設に空きがないとなかなか入れない状態だ。それまでは、ホームヘルパーの重点的派遣やショートステイ、老人保健施設の活用で対応していく。

委員会 だより

総務常任委員会

総務常任委員会では、12月定例会以降、継続案件となつていた陳情四件の調査および審査を行いました。

指定金融機関に関する三件は、陳情者の都合により審査継続中に取り下げられ、審議を打ち切りました。

残り一件（国民の祝日「海の日」実現について）は、2月24日に審議を行い、海の記念日（明治天皇の北海道へ横浜間の航行を記念して定められた）である7月20日を国民の祝日に定めることに関し議論が分かれ、採決の結果、賛成少数で不採択としました。（本会議では賛成多数採択）

第一回定例会では、総務常任委員会に対し条例改正三件、予算関係三件、請願一件、合計七件の議案が付託され、審査ならびに報告を行いました。

それらの中でも、議員の報酬に関する議案第三十号については、引き上げの時期や県下の町村の状況、或いは、今回常勤特別職の引き上げが行われない点などが論議され、採決の結果、

賛成少数で否決としました。（本会議では賛成多数可決）

総合ふれあい公園施設の備品購入契約の件で、町長及び助役が、自らの給与を減額するため条例改正である議案第三十一号については、賛成多数で可決しました。

文教厚生常任委員会



佐伯市役所にて

文教厚生常任委員会は、3月2日に「カード化による住民サービス向上」の先進地として知られる大分県佐伯市役所を訪問し、視察研修を行いました。

コンピュータ技術と通信技術の進歩、ネットワーク化の中で、カードを利用した住民サービスのシステムが、行政にも取り入れられ始めています。

佐伯市は、カードを利用した住民サービスに関し、全国的にも進んだ自治体の一つとして注目を集めています。

同市が開発した「さいき市民カード」は、磁気カードに比べ記憶容量が大きく、しかもセキュリティ（機密保護）機能が優れているICカードを採用しています。

現在、このカードには、氏名、住所、印鑑証明登録番号の他、血液型、緊急連絡先、障害者手帳のデータ、健康診断の結果などが入力されています。また、住民票、戸籍、印鑑証明、年金現況証明、所得・課税証明などは、カードを窓口の職員に提出し、希望するものを口頭で伝えるだけで発行される仕組みになっています。

今後は、岡垣町でも住民データのカード化による行政サービスの向上が、将来に向けての検討課題となることでしょう。

経済建設常任委員会

3月10日に開催された当委員会では、担当課より、懸案であるボタ山処理について、その災害防止工事計画の説明が行なわれました。



三抗ボタ山



現地調査中の各委員

計画の内容は、平成5年度から9年度にかけ、総事業費が二十三億八千七百二十二万三千元で、土地利用面積八万七千八百四十四平方メートル（うち宅地有効面積二万九百九十七平方メートル）を造成するというものでした。

これでは、宅地一坪当りの造成費が、町負担だけでも九万一千円以上になってしまうため、隣接の民有地などを含め、有効面積を見直す余地が残されていないかどうか、実態調査を行なっていました。

設計業者を交えて調査した結果、民有地の利用も含め、計画そのものが可能かどうか、担当課に再検討を要請しました。

ゴルフ場に関する調査特別委員会

岡垣町議会が、平成4年3月6日の定例会本会議で、ゴルフ

場開発推進に関する陳情書を採択してから1年が経過しました。委員会では、ゴルフ場開発の許認可権をもつ福岡県が、開発業者に行った指導や、開発に対する基本方針についての報告がありました。

県はの中で、今年の1月14日に開発業者から提出されていた予備審査願のうち、ゴルフ場へ至る取り付道路の海老津側部分を、削除するよう指導を行なっています。

また、ゴルフ場開発に関する基本指針を見直し、平成5年度早々から開発用地は、ボタ山処理の跡地か産業廃棄物の処理場跡地、あるいは過疎地であることを条件とする見込みです。しかし、岡垣町のゴルフ場開



庁舎

発のための国土利用計画を、昭和62年に認定した経緯があるため、今後は、その点を委員会と担当課で調査していく方針です。

遠賀・中間地域広域行政事務組合の議会報告

広域行政事務組合は、遠賀郡四町と中間市で組織される一部事務組合で、各市町議会より三名ずつ、合計十五名の議員で議会を構成しています。

この組合の業務は、老人福祉施設遠賀静光園の運営、し尿処理、火葬施設、ごみ処理、消防関係、休日急病センター、農業共済、伝染病患者の収容搬送など、広域多岐にわたっています。

そして、それらに必要な経費は、町市の負担金と国、県の負担金補助や交付金などでまかなわれています。

庁舎は白い二階建てで、遠賀町

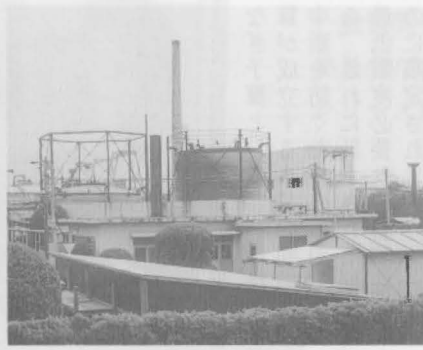


遠賀静光園

役場の近くへ、昨年の12月に新築移転したばかりです。

広域事務組合の議会の状況は、住民の日常生活と身近で重要な問題が多く審議されます。

昨年は、岡垣町民の永年の願いであった、消防署の岡垣分署が完成し、12月1日から業務を開始しているのをはじめ、消防



し尿処理施設



火葬施設天然園

本部の三階増築や火葬場の改修工事、指定ごみ袋制とごみの減量化の推進など、地域住民の「安全と福祉」を進める事業の予算化が議題の中心となっています。

時代の変化と共に多様化する住民の要望に応えるため、議会の重要性が高まっています。



ごみ処理施設



消防署岡垣分署

事務局 日誌 (1月~3月)

26日	25日	22日	4日	3月2日	26日	25日	24日	23日	18日	16日	15日	12日	10日	9日	8日	3日	2月2日	29日	20日	19日	18日	14日	13日	12日	11日	8日	1月4日	
経済建設常任委員会現地調査(戸切百合野三坑ボタ山)	岡垣サンリーアイ落成式	第一回定例会(最終日)、議会広報委員会(第三号の作成について)	福岡県鉱業関係町村議会議長会定期総会(福岡市)	平成5年第一回定例会(初日)	文教厚生常任委員会視察(大分県佐伯市市民カードシステムについて)	福岡県町村議会議長会総会(福岡市)	総務常任委員会(閉会中の継続審査)	芦屋町外二カ町競艇施行組合議会定例会(最終日)	芦屋町外二カ町競艇施行組合議会定例会(初日)	マリシー号対策協議会	第二回臨時会、議会広報委員会(第三号の作成について)	遠賀・中間地域広域行政事務組合議会定例会(初日)	第五十六基地協議会総会(浜松市)	福岡県町村議会議長会正副議長研修会(福岡市)	第五十六基地協議会総会(浜松市)	議会議事委員会(第二回臨時会について)	総合ふれあい公園建設特別委員会(物品購入に関する報告)	全国石炭鉱業関係町村議会議長会定期総会(東京都)	芦屋町外二カ町競艇施行組合議会臨時会	第一回臨時会(最終日)	議員研修会	平成5年第一回臨時会(初日)	総務常任委員会(閉会中の継続審査)	議会広報委員会(第二号の作成について)	議会議事委員会(平成5年第一回臨時会について)	総務常任委員会視察(芦屋町、赤池町の指定金融機関制度)	遠賀郡の将来を考える会、遠賀・岡垣ポート協議会	議会議事委員会(第二号の作成について)

議員表彰

去る2月25日、福岡県町村議会議長会総会の席上で、細川光利議員が23年という永い間町村議会議員として、地域の振興発展に功労があつたとして同会長から表彰されました。

細川議員は昭和42年4月に一期目の当選を果されて以来現在七期目で、文教厚生常任委員長として教育、福祉関係の分野で活躍中です。



シリーズ

用語解説

―暫定予算―

暫定予算とは、必要に応じて、①予算が年度開始までに成立する見込みのない場合、②新たに地方公共団体（県・市町村）が設置された場合、③その他特別の必要がある場合に、年間の予算が成立するまでの間、暫定的なものとして編成される一会計年度中の一定期間にかかる予算のことをいいます。

暫定予算は、一定期間のつ



山積する行政課題を考えたとき、責任の重大さを改めて痛感いたします。研鑽を積んで町政の発展に邁進いたします。

細川

控室

議員研修会開催

1月19日に、福岡県町村議会議長会の瀧島事務局長を講師に招き、議員研修会を開きました。

研修は、議会及び議員の使命、職責、義務、権限、更に議会運営のことなどについて、講義を受け、その後議員から講師に質問をするという形式で行われました。

日頃の議員活動を通じて感じている矛盾点や疑問点が数多く出され、大変有意義な研修会となりました。



議員研修

編集後記

3月定例会は、19日間に二十五の議案と請願・陳情を審議した。

今回は、新年度に向けての議案が多数提案されたので、質問や意見が大変多く、編集整理にあたる広報委員泣かせの議会だった。

しかしそのことを、議員の積極性の現れだと理解するならば、喜ばしいことと受け止めるべきだろう。

昨年度は、町制施行30周年ということで記念行事も多かった。3月には「岡垣サンリーアイ」の落成記念式典が盛大に行なわれた。

今年度は、岡垣町の新たな出発の第一歩となる。

今まで築いてきたものを大きく開花させるため、議会だよりの果たす役割を考え、より良い広報づくりに努めたい。（松原）

編集委員

- 委員長 古家崎康彦
- 副委員長 谷口佐賀雄
- 委員 松原 兼夫
- 委員 細川 光利
- 委員 勢屋 康一

